

名画に隠された真実

「人騒がせな名画たち」出版記念

講師 西洋美術史家 木村 泰司

西洋絵画はただ何となく眺めて「感じる」のではなく、その描かれた背景などを知り、深く「読む」ことで何倍も楽しめるようになります。たとえば当時タブーとされていたこと、作品に描かれたモデルの悲話など、知って見ると知らないで見るとでは、鑑賞後の後味に天地ほどの差が生まれるものです。

この講座はそういった「絵画の真実」をご紹介します。しかし単に驚きのネタだけのご紹介に終わらず、絵が描かれた当時の社会情勢や風俗、美術界の勢力図など、絵画を深く理解するために必要な知識をご紹介します。言わば、西洋美術史は「絵画を読むお作法」なのです。

日本では美術史と美術評論の区別があいまいな上、個人の勝手な感想ばかりが主流になりがちです。その上、なぜか画家と作品を神聖化しがちなため、展覧会等でも絵画の「真実」にはあまり触れないという事情がありますが、本講座ではまさに「展覧会では知りえないこと」をたっぷりお伝えして参ります。

登場する画家はボッティチェリ、ルーベンス、フェルメール、ルノワール、ゴッホなど、ルネサンス以降、近代までの美術史界のV.I.P.ばかり。作品も誰もが知る「超有名作」を選びました。みなさまが「美術を読む」楽しさに触れていただければ本望です。(講師記)



■日 時 2018年12月15日(土) 13:00~14:30

■受講料 会員 3,240円 (入会金は税別5,000円。70歳以上は無料、証明書が必要です)
一般 3,888円

■場所 ルミネ横浜8階(横浜駅東口)

〈講師紹介〉きむら・たいじ 1966年生まれ。米国カリフォルニア大学パークレー校で美術史学士号を修めた後、ロンドンサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART 修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等、本物に触れながら学ぶ。知識だけでなくエスプリを大切にしたい、全国各地での講演会、セミナー、イベントは新しい美術史界のエンターテイナーとして評判をよんでいる。話題の最新刊『人騒がせな名画たち』(マガジンハウス)をはじめ、著書多数。『印象派という革命』(集英社)、『美女たちの西洋美術史 肖像画は語る』(光文社新書)、『名画は嘘をつく1~3』(大和書房)、『世界のビジネスエリートが身につける教養 西洋美術史』(ダイヤモンド社)、「西洋美術史を変えた名画150」(辰巳出版)ほか。テレビ やラジオなど各メディアでも活躍。

※受講者が一定数に達しない場合、やむを得ず講座を中止する場合がございます。

※個人情報、受講連絡や各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター 横浜
朝日JTB・交流文化塾

お申し込み
お問い合わせ

045-453-1122

〒220-0011 横浜市西区高島 2-16-1 ルミネ横浜 8階
<http://www.asahiculture.jp/yokohama>